

mids-スタジオセッションの為の
クイックリファレンス集

コメント

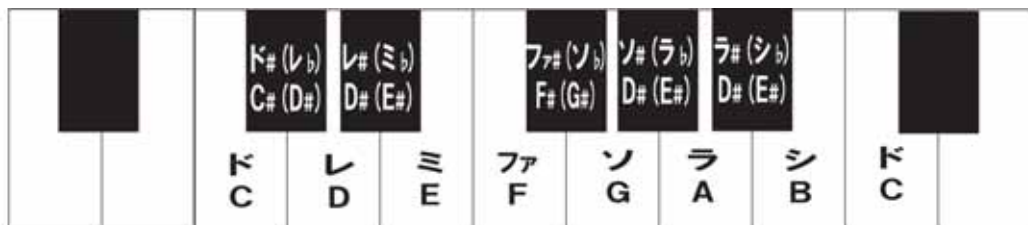
まず初めに、いつでもどこでも使える『音階のクイックリファレンス』です。
間違っても丸暗記なんて考えないでください!!
演奏している家に自然に身に付くものです。

●演奏前にちょっと迷ったら……この頁を見てください。

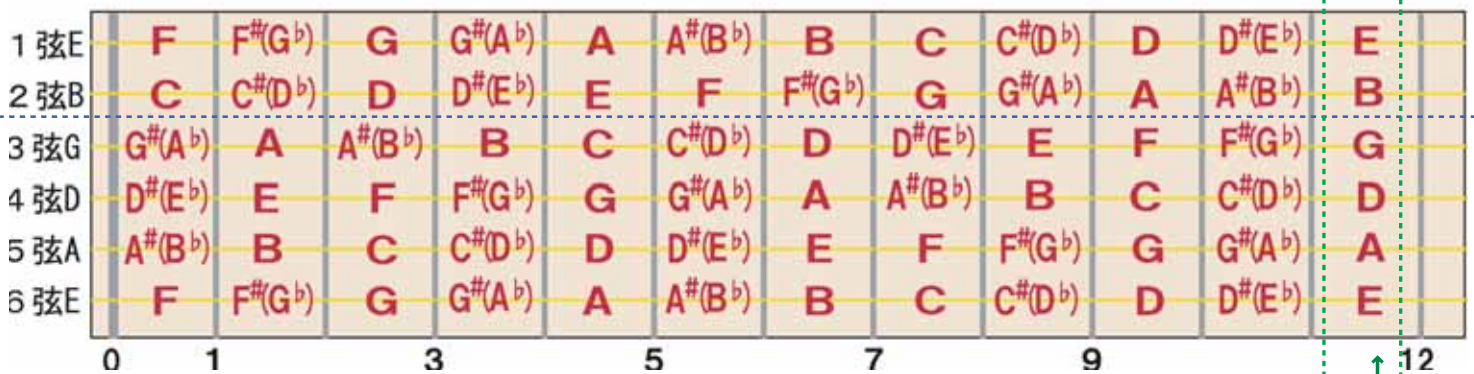
■音符表記

ドレミ表記 (階名)	ド	ド#(レ ^b)	レ	レ#(ミ ^b)	ミ	ファ	ファ#(ソ ^b)	ソ	ソ#(ラ ^b)	ラ	ラ#(シ ^b)	シ	ド
ABC表記	C	C#(D ^b)	D	D#(E ^b)	E	F	F#(G ^b)	G	G#(A ^b)	A	A#(B ^b)	B	C

■鍵盤上の位置



■指板上の位置 (Gt. & BASS)



《下4段がBASS指板です》。

↑開放弦の
一オクターブ上

コメント

各種コード（和音）のクイックリファレンスです。
 明るい響きのメジャーコード。暗い響きのマイナーコード。そしてそれらのつなぎ役で活躍するセブンスコード。これら3種のコードを紹介します。
 これらを組み合わせることで、およそ世にあるの曲80%は構成されています。
 ※なお、#系と♭系のコードは、一般的に使われやすい方の記述で表示してあります。
 ●コードにとまどったら……この頁を見てください。

■メジャーコード

コード表記 C D^b D E^b E F F[#] G A^b A B^b B C

■マイナーコード

コード表記 Am B^bm Bm Cm C[#]m Dm D[#]m Em Fm F[#]m Gm G[#]m Am

上記のメジャコードとマイナーコードの縦の関係を「平行調」と言います。理論理解は必要ありませんが、ペアで覚えておくと何かと便利です。

■セブンスコード

コード表記 C7 D^b7 D7 E^b7 E7 F7 F[#]7 G7 A^b7 A7 B^b7 B7 C7

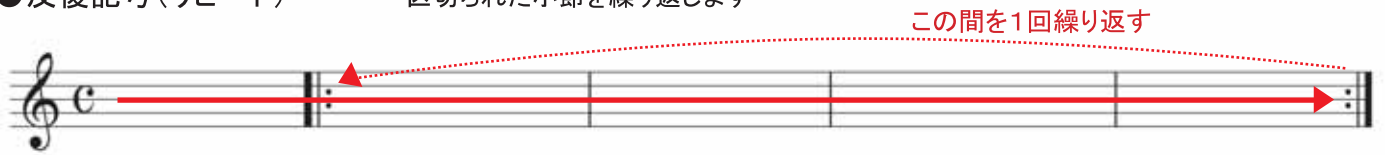
独特のブルージーな響きのセブンスコード。メジャーコードに♭7の音を足したものです。
 が……とりあえずそんな理論はともかく、どんどん弾いてみましょう!!

●和音の考え方

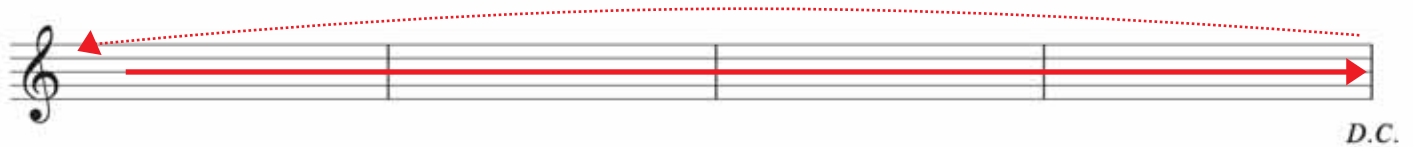
C	メジャー	Cm	マイナー	C7	セブンス
	+5 +3 ルート		+5 +♭3 ルート		+♭7 +5 +3 ルート

■反復記号の種類と意味

- 反復記号(リピート)…………… 区切られた小節を繰り返します



- D.C.(ダカーポ)…………… 曲の最初に戻ります



- D.S.(ダルセーニョ)…………… セーニョマークに戻ります D.S.^①は♩^①へ戻り D.S.^②は♩^②へ戻ります



- To Coda(コーダ)…………… To CodaからCodaへ飛びます
※D.S.やD.C.で戻った時のみ。リピート時は使いません。 Codaは省略することが多い



- カッコ…………… 1番カッコ 2番カッコの順に飛んでいく



■よくある応用例 ●これが読めれば何でもOK!! …… D.S.^①、D.S.^②、To Coda^①、To Coda^② が出てくる代表例

Intro

リハーサルマーク

A ♩^① (D.S.ストレート)

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

B ♩^②

21 22 23 24 25 26 27 28

Out ♩^②

29

Fine

＝D.S.時はそのまま2番カッコへ(但し、このマークがないときは1番カッコ→リピート→2番カッコへ進む)

to Coda^①は♩^①へ飛び to Coda^②は♩^②へ飛びます

D.S.^① D.S.^②

D.S.^①は♩^①へ戻り D.S.^②は♩^②へ戻ります

コメント

ブルース進行とは？……R&B、Jazzの世界では、昔からセッションにとっても便利な「ブルース進行」という3種のコードを使い12小節のコード進行があります。

初顔合わせのプロ達が、相手のクセを理解し合うために「じゃ、とりあえずAのブルースで！」……なんて具合にセッションに突入！こんな便利なもの、midsでも活用しない手はありません。

Let's TRY!!

●ブルース弾こうと思ったら……この頁を見てください。

■ブルース (Key = A)

■鍵盤コード例

■ギターコード例

■ベース例

■ドラムリズム例

《応用編：セブンスコード》